

出入国在留管理庁（入管）からのご案内①

～入管での難民・補完的保護対象者の申請手続について～

入管で難民や補完的保護対象者の申請手続をするときには必ず

申請書を提出してください（※）。申請書に必要なことをすべて書いてか

ら窓口に来てください。申請書に必要なことが書かれていないときは、

必要なことをすべて書いてからもう一度窓口に来てもらうこともありま
す。

この案内の後ろにある資料は、申請書にどんなことを書けばいいかを

説明するために、申請書の言葉を分かりやすくしたものです。

申請書を書くときはこの案内と一緒に後ろにある資料も読んでくださ
い。

よく分からないときは、入管の職員に相談してください。

（※）難民の申請手続は、「人種」、「宗教」、「国籍」、「特定の社会的集団の構成員で
あること」又は「政治的意見」が理由で、自分の国に帰ったら、命や身体など
が危ないときに行う手続です。

補完的保護対象者の申請手続は、例えば、自分の国で紛争が起こり、その紛争
に巻き込まれる可能性があるため自分の国から逃げてきたなど、上の5つの理由
以外の理由で、自分の国に帰ったら、命や身体などが危ないときに行う手続で
す。

出入国在留管理庁（入管）からのご案内②

～申請書を書くときのお願い～

申請書はあなたが難民や補完的保護対象者かどうかを審査するため

にとっても大切なものなので、必要なことをすべて、なるべく詳しく書い

てください。また、下のことを守ってください。

- 原則として、申請書は難民や補完的保護対象者の手続をする人が書くものです。

ただし、16歳になっていない子どもの申請書をお父さんやお母さんが書くことはできます。

- 字を書くことができない人は、入管の職員に相談してください。
- 質問の答えが何も書かれていないままだと、あなたが書き忘れてしまったの

か、書く答えがないのかが分かりません。書く答えがないときは答えの欄に

「×」や「/」と書いてください。覚えていなくて答えが書けないときは「覚えて

いない」と書いてください。

- 日本語以外の言語で書く場合、可能な限り、一つの言語で書いてください。
- チェックをつける質問には必ずどれを選んだかが分かるように「✓」を書いて
ください。
- 鉛筆や消せるペンでは書かないでください。

< 記載例 >

別記第七十四号

日本国政府法務

法務大

私は、



① 難民認



② 補完的保護対象者認定申請（出入国管理及び難民認定法第61条の2第2項の申請）

を行うものとして、本申請書を提出します。

※上記のうち、どちらか一つにチェックをしてください。

・難民の申請手続と補完的保護対象者の申請手続のどちらの申請をしますか。
 ①難民とは、人種、宗教、国籍、特定の社会的集団の構成員であること、政治的意見、のいずれかの理由で、自分の国に帰ったら命や身体などが危ない人のことです。
 ②補完的保護対象者とは、紛争に巻き込まれるおそれがある人があって逃げてきた人など、①以外の理由で、自分の国に帰ったら命や身体などが危ない人のことです。
 ・当てはまる方に「✓」してください。二つとも「✓」することはできません。
 ・「①難民認定申請」に「✓」したときは、あなたが難民かどうかの判断と合わせて、あなたが補完的保護対象者かどうか判断します。「②補完的保護対象者認定申請」に「✓」したときは、あなたが補完的保護対象者かどうかだけを判断して、あなたが難民かどうかは判断しません。

・パスポートに書いてある自分の名前をアルファベットで書いてください。
 ・パスポートの姓 (SURNAME)、名 (GIVENNAME) の順に書いてください。

パスポートに書いてある自分の誕生日を書いてください。

当てはまる方に「✓」してください。

・日本での今の住所を書いてください。
 ・在留カードを持っている人は、在留カードに書いてある住所を書いてください。

パスポートに書いてある、あなたの国籍・地域を書いてください。

・今の仕事を書いてください。
 ・なければ「×」や「/」と書いてください。

・入管と連絡できる電話番号を書いてください。
 ・ないときは「×」や「/」を書いてください。

パスポートに書いてある、あなたが生まれた町を書いてください。

「本人以外」に「✓」したときは、誰の電話か書いてください。

電話番号が自分の電話のときは、「本人」に「✓」してください。自分の電話でないときは、「本人以外」に「✓」してください。

氏名	NYUKAN ICHIRO			性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
生年	1990	(月)	1	(日)	1
現在の職業	×				
出生地	ABCDE	ODAIBA			
日本の住居地	5-5-30, KONAN, MINATO-KU, TOKYO				
入管と連絡できる電話番号	012-345-6789	<input type="checkbox"/> 本人	<input checked="" type="checkbox"/> 本人以外	(本人以外の場合) 連絡先氏名	
所持の有無	(ありの場合) 番号		所持の有無	(ありの場合) 名称	
旅券	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	A123456	その他の所持する身分証等	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	residence card driver's license

自分のパスポートを持っていれば、「あり」に「✓」してください。持っていなければ、「なし」に「✓」してください。

「あり」に「✓」したときは、自分のパスポートの番号を書いてください。

パスポート以外の身分証明書を持っていれば、「あり」に「✓」してください。持っていなければ、「なし」に「✓」してください。

「あり」に「✓」したときは、身分証明書の種類を書いてください。

ここに何も書かないでください。

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

※この申請書に書かれている名前 (NYUKAN ICHIRO) などの内容は見本です。そのまま書かないでください。
 ※欄外には何も書かないでください。

< 記載例 >

【注意事項】
 以下の注意事項をよく読んで上で質問に答えてください。
 読んだ注意事項には、チェック☑をしてください。

この申請書には、あなたが主張したい事情を全て書いてください。

回答に当たっては、該当する欄にチェック☑をし、記入部分には、具体的かつ詳細に書いてください。

この申請書に事実を反することを記載したり、虚偽の資料を提出した場合は、審査上不利を被ることがあります。

・上にお父さん、下にお母さんについて書いてください。
 ・もし、亡くなっているときは、そのことを「現在の居住地」に書いてください。

家族構成 両親					
続柄	氏名	生年月日	国籍・地域（又は常居所を有している国）	現在の居住地	
父	NYUKAN TARO	(YY/MM/DD) 1960.1.1	ABCDE	〇〇CITY	
母	NYUKAN HANAKO	1965.1.1	ABCDE	〇〇CITY	

きょうだい（兄・姉・弟・妹）（計 2 人） あなたを除いたきょうだいの人数を書いてください。

続柄	氏名	生年月日	性別	国籍・地域（又は常居所を有している国）	現在の居住地
① BROTHER	NYUKAN JIRO	(YY/MM/DD) 1980.1.1	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	ABCDE	△△CITY
② SISTER	NYUKAN AIKO	1992.1.1	<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 男	ABCDE	〇〇CITY
③			<input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 男		
④			<input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 男		
⑤			<input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 男		
⑥			<input type="checkbox"/> 女		

・あなたのきょうだい（兄・弟・姉・妹）について書いてください。
 ・きょうだいが7人以上いるときは、3の継続用紙などのほかの紙に書いてください。

配偶者、子 （注）7人以上は別紙を提出してください。

続柄	氏名	生年月日	性別	国籍・地域（又は常居所を有している国）	現在の居住地
① WIFE	NYUKAN SACHIKO	(YY/MM/DD) 1993.1.1	<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女	ABCDE	MINATOKU KONAN
②			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 男		
③			<input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 男		
④			<input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 男		
⑤			<input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 男		
⑥			<input type="checkbox"/> 女		

・あなたの両親・きょうだい以外の親族（妻や夫、子ども）について書いてください。
 ・7人以上いるときは、3の継続用紙などのほかの紙に書いてください。

※この申請書に書かれている名前（NYUKAN ICHIRO）などの内容は見本です。そのまま書かないでください。
 ※欄外には何も書かないでください。

< 記載例 >

日本に来る前に、いつ、どこに住んでいたかをすべて書いてください。

来日前の居住歴	居住期間	居住地
	(YY/MM/DD) ~ (YY/MM/DD) 2018.1.1 ~ 2021.1.1	〇〇STREET, △△CITY
	2021.1.1 ~ 2023.1.1	□□PREFECTURE, ABCDE
	2023.1.1 ~	TOKYO, JAPAN

あなたが日本に来る前に最後に通っていた学校について書いてください。

日本に来た後の居住期間について、いつまで住んでいたかは書かないでください。

卒業しましたか、途中でやめましたか。卒業した日又は途中でやめた日を書いてください。

来日前の最終学歴	種別	学校名	所在地	修了状況	卒業・中退年月日
	<input type="checkbox"/> 初等 <input type="checkbox"/> 中等 <input type="checkbox"/> 高等 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> その他 ()	〇〇〇	△△CITY	<input checked="" type="checkbox"/> 卒業 <input type="checkbox"/> 中退	(YY/MM/DD) 2010.1.1

あなたが日本に来る前にしていた仕事についてすべて書いてください。

来日前の職歴	期間 (年月日)	会社等名	所在地	役職、業務内容
	(YY/MM/DD) ~ (YY/MM/DD) 2014 ~ 2018	〇〇 COMPANY	〇〇	△△
	2018 ~ 2021	△△ COMPANY	△△	□□

今回、日本に来るより前に、日本に来たことはありますか。
・「あり」に「✓」したときは、これまでに日本に来たことについてすべて書いてください。「なし」に「✓」したときは、右には何も書かないでください。

日本の出入国歴	入国した日	日本から出国した日	来日理由
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	(YY/MM/DD) 2017.1.1	(YY/MM/DD) 2017.2.1	TRIP

これまでに日本以外の国に行ったことがありますか。
・「あり」に「✓」したときは、これまでに日本以外の国に行ったことについてすべて書いてください。「なし」に「✓」したときは、右には何も書かないでください。

渡航先 (国名)	渡航期間	渡航理由
EFGHI	(YY/MM/DD) (YY/MM/DD) 2018.1.1 ~ 2018.2.1	BUSINESS

民族・部族	宗教	宗派
母語	読むこと	話すこと
あなたが一番自然に使用できる言葉を書いてください。	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
その他の可能な言語	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可

例えば、イスラム教の中のスンニ派、キリスト教の中のカトリックなど、あなたの宗派（宗教の中の種類）を書いてください。

※この申請書に書かれている名前（NYUKAN ICHIRO）などの内容は見本です。そのまま書かないでください。
 ※欄外には何も書かないでください。

< 記載例 >

1 あなたが本国に帰国した場合、誰から、どのようなことをされるおそれがありますか。

(1) 誰から

国家機関 (名称等) あなたの命や身体などに危ないことをするのが、あなたの国の機関のときは、「国家機関」に

上記以外 (名称等) 「✓」を、それ以外の誰かのときは「上記以外」に「✓」をして、名前などを書いてください。

(2) どのようなことをされるおそれがありますか。(具体的に書いてください。)

・あなたがあなたの国に帰ったら、あなたの命や身体などについて、どのような危ないことをされますか。

・審査をするために大切なことなので、どのようなことをされるか詳しく書いてください。

(3) そのおそれを感じたのはいつからですか。

・あなたの命や身体などが危ないと感じたのはいつからですか。

・□年△月○日からなど、覚えている限り具体的に書いてください。

2 上記1のおそれがある理由は次のどれですか。

申請書の始めて「①難民認定申請」に「✓」したときは、あなたが国に帰ったら危ない理由について、あてはまるものに「✓」してください。申請書の始めて「②補充的保護対象者認定申請」に「✓」したときは、ここには「✓」しないでください。

人種 宗教 国籍 特定の社会的集団の構成員であること

政治的意見

(理由)

申請書の始めて「①難民認定申請」に「✓」して、上の5つ以外にもあなたが国に帰ったら危ない理由があるときは、ここに詳しく書いてください。申請書の始めて「②補充的保護対象者認定申請」に「✓」したときは、あなたが国に帰ったら危ない理由を詳しく書いてください。

3 上記1のおそれがあると考える根拠となる全ての事実を書いてください。

(注1) 記載に当たっては、誰が、いつ、どこで、誰から、どのようなことをされたのか、なぜそのようなことをされたのか(理由)がわかるように、具体的に書いてください。

(注2) 特に、身体の拘束や暴力を受けたことがある場合や、逮捕されたことがある場合には、それらについても具体的に書いてください。

(注3) この欄が足りない場合には、次のページの継続用紙に書いてください。

・あなたが国に帰ったら危ないと考える理由となる出来事について詳しく書いてください。

・誰が、いつ、どこで、誰から、どのようなことをされたのか、なぜそのようなことをされたのか、を詳しく書いてください。

・特に、あなたが捕まったり、暴力を受けたりしたことがあるときは、そのことについて詳しく書いてください。

このページだけに書ききれず、次のページにも書くときは「次のページに続く」に「✓」してください。次のページには書かないときは「次のページは使用しない」に「✓」してください。

次のページに続く 次のページは使用しない

※この申請書に書かれている名前 (NYUKAN ICHIRO) などの内容は見本です。そのまま書かないでください。

※欄外には何も書かないでください。

< 記載例 >

(3の継続用紙)

まえ か
前のページに書ききれない
つか
ときに使うページです。

※この申請書に書かれている名前（NYUKAN ICHIRO）などの内容は見本です。そのまま書かないでください。
※欄外には何も書かないでください。

< 記載例 >

・ 2 に書いた理由で、あなたの家族に何か起こったことがある場合は、「はい」に「✓」して、下に詳しい内容を書いてください。
 ・ 家族の2人以上に何か起こったときは、すべて書いてください。
 ・ 「いいえ」に「✓」したときは、下には何も書かないでください。

4 上記2の理由により、あなたの家族の身に何かが起こったことはありますか。

はい いいえ

「はい」と答えた場合は、全ての事情について、具体的に書いてください。

氏名	続柄	時期・期間	場所	誰から	どのような行為を受けたか
家族の名前	家族とあなたの関係	いつ起こりましたか。 ○年△月◇日 ～□年○月○日のように書いてください。	どこで起こりましたか。	誰が起こしましたか。	家族は何をされましたか。

5 あなたは今回の難民・補完的保護対象者認定申請に関連して属したり、支持（支援）したりしていませんか。

はい いいえ

「はい」と答えた場合は、具体的に書いてください。

・ あなたは、何かの組織（日本の組織も含みます。）に入ったり、何かの組織を支援したりしましたか。今回の申請に関係あるものだけ書いてください。
 ・ 「はい」に「✓」したときは、その内容について、下に書いてください。「いいえ」に「✓」したときは、下には何も書かないでください。

期間	組織名	役職	活動内容
いつからいつまで、組織に入ったり、支持（支援）したりしましたか。○年△月◇日～□年○月○日のように書いてください。	入っていた組織の名前又は支持（支援）した組織の名前	あなたはどのような立場でしたか。	組織でどのようなことをしていましたか。組織にどのようなことをしましたか。

6 あなたは今回の難民・補完的保護対象者認定申請に関連とったことがありますか。（来日後にとった行動を含む）

はい いいえ

「はい」と答えた場合は、具体的に書いてください。

・ あなたは、あなたの国の政府がする政治について、意見をまわりの人に話したり、行動したりしましたか。今回の申請に関係あるものだけ書いてください。
 ・ 「はい」に「✓」したときは、その内容について、下に書いてください。「いいえ」に「✓」したときは、下には何も書かないでください。

いつ（○年□月◇日）、どこで（あなたの国の○○市、日本の△△市などで）、何をしたら（デモや集会に参加した、インターネットで意見を書いたなど）を詳しく書いてください。

7 (1) あなたは、これまでに、逮捕状を発付され、又は手配をされたことがありますか。

はい いいえ

「はい」と答えた場合は、具体的に

・ 何かの機関があなたに逮捕状を出していたり、あなたを捕まえようとしたりしたことはありますか。
 ・ 「はい」に「✓」したときは、その内容について、下に書いてください。「いいえ」に「✓」したときは、下には何も書かないでください。

年月日	機関名	罪状	逮捕状の発付又は手配の事実を知った経緯
あなたに逮捕状が出たことやあなたを捕まえようとしたのがいつか、○年△月◇日のように書いてください。	機関の名前	何の罪で、逮捕状が出たり、あなたを捕まえようとしたりしましたか。	あなたは、どのようにして、左に書いた機関が逮捕状を出したり、あなたを捕まえようとしたりしていることを知りましたか。

※この申請書に書かれている名前（NYUKAN ICHIRO）などの内容は見本です。そのまま書かないでください。
 ※欄外には何も書かないでください。

< 記載例 >

あなたは、これまでに警察に捕まったり、
裁判にかけられたりしたことはありますか。

(2) あなたは、これまでに、逮捕や起訴をされたことがありますか。

はい いいえ

(3) あなたは、これまでに、有罪判決を受けたことがありますか。

はい いいえ

「はい」と答えた場合は、その

これまでに裁判を受けて、有罪判決を受けたことがある場合は、「はい」に「✓」して、その裁判の内容について、下に書いてください。「いいえ」に「✓」したときは、下には何も書かないでください。

年月日	裁判所名	罪名	判決内容
いつ、裁判の結果を 言われましたか。 ○年△月◇日のよう に書いてください。	あなたが裁判 を受けた 裁判所の名前	何の罪で、裁判を 受けましたか。	どのような結果を言われましたか。

8 あなたは、これまでに日本以外の国や国連の機関（UNHCR）等に保護を求めたことがありますか。

はい いいえ

「はい」と答えた場合は、具体

・あなたはこれまでに、日本以外の国、日本にある他の国の大使館又は国連（UNHCR）に助けてほしいとお願いしたことがありますか。
・「はい」に「✓」したときは、お願いしたことについて、下に書いてください。
・「いいえ」に「✓」したときは、下には何も書かないでください。

国・国連機関名	手続内容	結果
どこに助けてほしいと お願いしましたか。	あなたは、どのようにして 助けてほしいとお願いしま したか。	助けてもらえましたか。助けてもらえ ませんでしたか。助けてもらえたときは、 どのようなことをしてもらいましたか。

9 あなたは、上記1から8までに記載した内容を裏付ける資料を提出することができますか。

はい いいえ

「はい」と答えた場合は、

・あなたは、書類や写真など、1から8までに書いたことが分かるものを「入管」に出すことができますか。
・「はい」に「✓」したときは、出すことができる物について、下に書いてください。
・「いいえ」に「✓」したときは、下には何も書かないでください。

資料名	内容	提出理由	提出予定時期
なにを出すことができ ますか。	それはどのようなものですか。 ○が書かれている、△△が写 っているように書いてくだ さい。	なぜ、入管に出す のですか。なにを 説明するもので すか。	いつ頃、入管に出 すことができます か。

※この申請書に書かれている名前（NYUKAN ICHIRO）などの内容は見本です。そのまま書かないでください。

※欄外には何も書かないでください。

< 記載例 >

・あなたがあなたの国から出発して、日本に来るまでに、どこの国に行きましたか。
 ・日本以外の国を通った場合は、順番にすべて書いてください。

10 あなたが本国から脱出した日から日本に上陸するまでの経緯について具体的に書いてください。複数の国を経由した場合は、全て書いてください。

年月日	出国港 (出発地)	年月日	入国港 (到着地)
いつ、出発しましたか。○年○月○日のように書いてください。	どこから出発しましたか。○港 (△国) のように書いてください。	いつ、着きましたか。○年○月○日のように書いてください。	どこに着きましたか。○港 (△国) のように書いてください。

(1) 今回の日本への入国について該当するものにチェックをしてください。

直行 第三国経由

あなたの国から、直接日本に来たときは「直行」に「✓」してください。他の国から日本に来たときは、「第三国経由」に「✓」し、(2)も書いてください。「直行」に「✓」したときは、(2)は何も書かないでください。

(2) 第三国経由の場合は、該当するものにチェックをしてください。

乗換え 滞在

日本に来る前にいた国に、飛行機や船の乗換えのためにいたときは、「乗換え」に「✓」してください。日本に来る前にいた国に、生活をするために住んでいたときは、「滞在」に「✓」してください。

11 現在の健康状態はどうですか。

良好 不良

(1) 具体的な病名・症状を記載してください。

(2) 通院や医師による治療を受けていますか。

はい いいえ

なぜ元気がないのですか。どこが悪い又は痛いかを書いてください。
 ・お医者さんに診てもらったことがあるときは、病気の名前を書いてください。

・あなたは元気ですか。元気な人は「良好」に「✓」してください。元気ではない人は「不良」に「✓」してください。
 ・「不良」に「✓」したときは、(1)(2)も書いてください。「良好」に「✓」したときは、(1)(2)には何も書かないでください。

12 難民調査官がインタビューする場合、通訳は必要ですか。

あなたは、現在、定期的にお医者さんに診てもらっていますか。

はい → (1) 及び (2) を回答してください。

いいえ → (2) を回答してください。

(1) 通訳は何語を希望しますか。

何語の通訳をしてほしいですか。 _____ 語

(2) インタビューに関して希望する事項があれば、理由とともに書いてください。
 (例：難民調査官や通訳人の性別、通訳人の国籍)

インタビューをするときに通訳はいますか。
 ・「はい」に「✓」したときは、(1)と(2)を書いてください。「いいえ」に「✓」したときは、(2)だけ書いてください。

インタビューについて、(1) のこと以外で希望があれば理由と一緒に書いてください。
 (例：○○の理由で男性・女性の面接官を希望します。△△の理由で□□の国籍の通訳人を希望します。)

記載した内容に誤りがない場合には、以下にチェックをしてください。

申請書に記載した内容はすべて理解しており、誤りはありません。

これまで書いたことに間違いはないですか。

本件申請書を代理人 (注) が記載した場合には、以下の項目について記載してください。

(注) 外国人が16歳に満たない者であるとき又は疾病その他の事由により自ら出頭できないときは、当該申請者の父、母、配偶者、子、又は親族が申請者に代わって申請することができます。

(記載・作成した人の氏名)
 (申請者との関係)

申請者 (代理人) の署名 _____

サインを書いてください。

入管にこの申請書を出す日付を書いてください。

_____ 年 _____ 月 _____ 日

※この申請書に書かれている名前 (NYUKAN ICHIRO) などの内容は見本です。そのまま書かないでください。
 ※欄外には何も書かないでください。